

## 検証・課題分析等の全体概要

業務プロセス改善による生産性の向上と発注者メリットの増大と、維持管理運用で「役に立つBIM」の価値向上と発注者メリットを追求する。

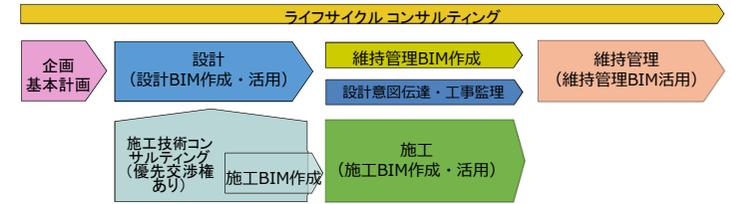
- ・全国チェーン施設の標準化による発注者メリットの検証
- ・効率的な法令チェックにおける生産性向上に向けた検証
- ・BIMと連動したデジタルツールによる資産管理と保全業務の可視化
- ・施設の稼働状況をIoTで自動収集、ビッグデータの可視化と分析

## 検証の対象

標準ワークフローのパターン：④

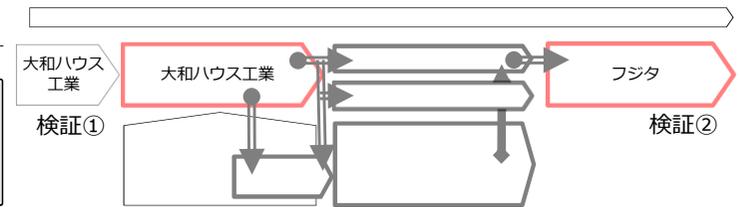
### 【業務内容】

※着色部分が検証対象



### 【データ受渡】

※着色部分が検証対象  
※記載文字は実施主体を示す



## 検証する定量的な効果とその目標

検証A, B) ①全国チェーン施設のBIM標準の発注者メリット検証（標準化、時間短縮、意思伝達時間管理法令チェックによる手戻り削減、データ管理の一元化、IoTの活用）  
⇒設計図作成時間 3割減、標準更新時の伝達時間 1割減、申請図書の作成・管理時間 2割減、検査の各項目に係る時間 1割減

検証C, D) ②デジタルツインによる維持管理情報の発注者メリット検証（保全業務のデジタル化、サービスリクエスト処理、IoTによる建物稼働データの収集）  
⇒情報検索や報告時間 3割減、サービスリクエスト完了までの時間 1割減、異常検知から応急処置までの平均対応時間 2割減

## 分析する課題

課題A, B)

①全国チェーン施設のBIM標準の発注者メリット検証（最新仕様の情報伝達BIMモデルを活用する影響の課題、BIMモデルと確認図書との整合性担保の課題）

課題C, D)

②デジタルツインによる維持管理情報の発注者メリット検証（発注者と建物管理業者の契約時期が及ぼす影響の課題、竣工BIMの機器情報と実際に設置された機器との整合性担保の課題）

## プロジェクト概要

プロジェクト区分：新築  
検証区分：仮想/既実施  
発注者の役割：不動産賃貸事業者/所有者（応募代表者）  
用途：物販店舗/研修所  
階数：地上2階/地上4階塔屋1回  
延床面積：約1,200㎡/約17,000㎡  
構造種別：S造/S造

## 応募者の概要

代表応募者：大和ハウス工業株式会社  
共同応募者：株式会社フジタ  
事業期間：令和3年度内  
提案者の役割：発注者・設計者・施工者・維持管理者

令和3年度 BIMを活用した建築生産・維持管理プロセス円滑化モデル事業（先導事業者型）

